



メディカル チェック



内科・泌尿器科 のはなし

早期発見・早期治療！
泌尿器科の腫瘍の話／その81

新型コロナウイルス感染と、癌患者さんの関連について①

前回連載の8月号では、新型コロナウイルス感染流行期の健診についてお話ししました。今回から、この感染症と癌患者に関する情報をお伝えしていきます。

前回の連載の8月号では、率に関して見てみましょう。2月の世界保健機構と中国からの報告では、中国の癌患者が新型コロナウイルスに感染した時の死亡率は7・6%で、全体の3・8%、併存疾患なしの1・4%と比較して高いですが、心血管系疾患、糖尿病、慢性呼吸器疾患をもつ患者の感染死亡率はそれぞれ13・2、8・4、8・0%と、同程度と言え

ます。癌がほかの疾患と比べて特別というわけではないようです。一方、世界的に非常に信頼性のある医学雑誌『Lancet』に6月末に報告された、約900名の新型コロナウイルス感染に罹患した癌患者に関する欧米のデータでは、死亡率は約13%でした。そのうち、高齢者、男性、喫煙者、併存疾患が2つ以上、進行癌患者ではさらに死亡リスクが高まるとされ、ほかにも同様の報告が見られています。

このような結果ですが、逆に早期発見・早期治療がなされ、病状が安定し健康に生活している状態にあるならば、感染死亡率は低いとも言えます。次回からは、癌治療の実施や継続、定期観察についてお話ししていきます

医療体制が異なることもあり、あくまでも現時点での一般論で、現日本国内や今後は、当てはまらない可能性のあることを、ご了承ください。まず、死亡

話が変わりますが、2015年から毎年6月に当院主催で開催しております、『イオンシネマ市民講演会』についてのお知らせです。

感染流行動向を注視し、延期の上で開催できるか検討をしてみました。が、現時点において、皆様に安全かつ安心してご参加いただくことが難しいと判断するに至りました。

本来に残念ですが、本年度の本講演会は中止といたします。来年は、さらにパワーアップした、楽しい講演会を皆様にご提供したいと考えています。ご期待下さい！

北彩都病院・泌尿器科
癌診断・治療センター長
徳光 正行
医学博士、日本泌尿器科学会専門指導医、日本がん治療認定医

北彩都病院 宮下通9
〒106-6641
永山腎泌尿器科 永山2ノ7
〒106-465000
クリニック